

AI を活用して成長する — 未来のオフィス環境

早いもので 2024 年も 3 分の 1 が過ぎ、中盤に入りました。IT の進化も目覚ましく、「AI」関連の話題も多く聞かれています。

「AI」とは？
人工知能のことです。人間の知的行動を模倣するシステムの総称で、大量のデータを処理して、関連性や規則性を見つけ出し、最適な答えを導き出します。

昨年から話題をさらっている「ChatGPT」は、生成 AI の一つで、自然言語を理解して会話するように質問に回答・情報提供したり、話題について議論が得意な AI 例です

日常で活躍する具体的な AI 例としては、

- ◇ iPhone の音声認識 Siri (シリ)
- ◇ 自動車の自動ブレーキ、自動運転
- ◇ スマホ、PC の顔認証

◇心拍数、血圧チェックの健康管理などがあり、知らず知らずのうちに身近で利用しています。

オフィス事例では、
1. データ入力自動化
大量入力が必要な部門では、**手書伝票**をスキャン・写真撮影で判別入力。



2. 音声認識書き起こしと自動要約
会議内容を音声認識で自動的に文書として**書き起こし**、会議内容を自動要約し議事録としてまとめてくれます。



3. マーケティング分析
顧客情報・購買履歴などを元に**行動パターンを分析**し、一人一人に合わせたアプローチができます。



このように中小企業でも AI が身近になり、日々の生活からビジネスの現場まで、AI の活躍はますます目覚ましいものがあります。

この先進的な技術は、私たちの作業を効率化し、より良い意思決定を支援し、日常生活を豊かにしています。これからも AI のさらなる進化とその可能性に期待しつつ、できることから少しずつ活用していきたいと思っています。

私たちは、お客様のニーズに応じて最適な IT 環境の構築をお手伝いしています。PC 選定からオフィス環境に至るまで、幅広くサービスを提供しております。ご要望に柔軟に対応し、専門知識を活かしたご提案をいたします。お気軽にお問い合わせください。

IT・PC One Point Advice Vol.10

MS Office Excel 編 No5 関数①

Microsoft Excel X 【おすすめ関数 ①】

☆ IF 関数 ☆

=IF(①条件, ②条件が正しいときの値(式), ③謝りの時の値(式))

指定された条件が「正」か「誤」を判定して異なる値、計算(式)を実行します。

- ① 条件：評価する値・式を入力します。
- ② 正しいときの値(式)：条件が「正」の時の値・式を入力します。
- ③ 謝りの時の値(式)：条件が「誤」の時の値・式を入力します。

≪ 具体例 ≫

= IF(A1)>=10000, "目標達成", "目標未達成")

セル A 列に売上結果が入力されているとします。この式では、売上が 10,000 円以上の場合に「目標達成」と表示され、それ未満の場合には「目標未達成」と表示されます。

このようにデータに基づいた条件付きのテキスト応答も簡単に設定することができ、報告書の自動化やエラーチェック、データの可視化が容易になり、効率的なデータ管理を実現できます。

無料セミナーのお知らせ 5月15日(水) 18:30～ 開催

『AI の未来世界を体感! AI に話しかけてみよう! ChatGPT』

仔細は、別紙案内にてご確認ください。

【編集】株式会社 ハイ・フライ・サポート

代表取締役 今村 進一 (IT コーディネーター)

TEL: 090-9518-5810 Mail: info@hiflysupport.com

